

# 『当事者が語る LGBTQとメンタルヘルス』

◆講師：竹内あすか先生 産業カウンセラー  
キャリアコンサルタント

◆日時：2019年9月8日（日）14時～17時15分

◆場所：チサンマンション第7新大阪 1階貸会議室

大阪市淀川区西中島6-2-3（当会事務所があるビルの1階です）

（地下鉄御堂筋線『西中島南方駅』、阪急京都線『南方駅』徒歩5分、JR『新大阪駅』徒歩10分）

※2単位申請中

性的マイノリティーは少し前までは病気として扱われ、誤解を招き、さらには差別の問題にさえ発展していったこともありました。ところが、最近突然LGBTという言葉が使われるようになり、その定着とともに一気に人権問題として捉えられるようになってきたようです。その経緯を聞いてみると、まず同性愛の問題と両性愛の問題を一緒に取り組もうということが起こり、その後トランスジェンダーの問題が加わったそうです。

実際にはLGBT以外に性の問題もありますし、当事者の主張から関連する言葉の使い方の問題もあるようですが、今後大きな展開があると思われます。基礎的なところからしっかり理解して頂きたいと思います。

## 【講師からのメッセージ】

昨今話題となっている「LGBTQ」について、「LGBTQ」というワードは知っているけど「LGBTQ」全て同じ問題があると勘違いされる方が多いように思われます。L、G、B、T、Qそれぞれ違った問題があり、生き辛さを抱えています。また、当事者の中にはメンタルヘルス疾患を抱えている方も多数います。性の問題は非常にセンシティブな問題であるため、知識がないが故に支援側が当事者を傷つけてしまうということもあります。支援側として携わる方々にLGBTQに関する基本的な知識を知っていただくと共に、自身のカウンセリング経験や他の様々な当事者の事例等から、みんなが生きやすい社会にするために何が出来るかを共に考えていただく機会にしたいと思っています。

## ～講師プロフィール～

◆龍谷大学大学院にてLGBTQについて研究。現在は会社員であり人事部所属。メンタルヘルスやハラスメントの相談窓口業務も行う。昨年より、会社での人事経験を活かし母校の龍谷大学でLGBTQ学生への就活セミナーをはじめ、他大学や行政の人権講座での講演会など講演活動を実施している。講演録は龍谷大学発行の冊子「大学生のためのLGBTQ サバイバルブック vol.1 先輩たちのライフストーリーズ」に掲載。